

そ
曾於
議会だより

2010.11
No.22



災害復旧費可決

市政を問う 一般質問

委員会報告

2

5

13

合同で行われる中谷小・中谷校区の運動会（財部町）

発行：鹿児島県曾於市議会 編集：議会広報等調査特別委員会
〒899-8692 鹿児島県曾於市末吉町二之方 1980 TEL0986-76-8816 FAX0986-76-8901

7月3日 中谷地区の豪雨災害 (大石上空から中谷方向を撮影)



9月定例会

中谷地区水田約 32ha が埋没

－9月定例会－

★平成22年度曾於市一般 会計補正予算(第7号)

(全会一致 可決)

今回の補正は7月の豪

雨による災害復旧費が

主なもので、20億204

1万6千円を追加し、累

計予算は237億109

6万5千円となります。

歳入は、農業施設災

害復旧費分担金505

8万6千円、公共土木施

設災害復旧費負担金2

億6747万3千円、農

等2852万円、鹿児島

予 算

9月定例会は、9月6日に開会し、9月28日に閉会しました。
定例会では、曾於市小学校及び中学校の設置並びに管理に関する条例の一部を改正する条例や曾於市過疎地域自立促進計画、平成22年度予算の補正に関するものその他、報告3件、議案14件、認定案1件、諮問2件、同意案1件、交通事故防止に関する決議案他、発議2件、陳情2件などを審議・議決しました。また、平成21年度の決算認定案7件については、継続審査となりました。

農地・農業用施設・公共土木施設 災害の復旧に

14億4,148万円



大石

★平成22年度曾於市国民
健康保険特別会計補正
予算（第2号）
(全会一致 可決)
今回の補正是401
万1千円を追加し、累
計予算は60億3402
万5千円となります。
歳入の主なものは、新
共同電算対応システム
改修及び財源調整によ
る前年度繰越金387
万1千円等であり、歳
出の主なものは、新共
同電算対応システム改
修に伴う疾病予防費3
67万5千円等であります。

★平成22年度曾於市介護
保険特別会計補正予算
(第2号)
(全会一致 可決)
今回の補正是13
31万4千円を追加し
累計予算は44億755
9万2千円となります。
歳入の主なものは、
高額医療合算介護サー

ビス費の増額に対する
国庫支出金364万9
千円、支払基金交付金
367万3千円等であ
ります。

歳出の主なものは、
平成20年4月1日から
平成21年7月31日まで
の介護保険及び後期高
齢者医療に係る高額医
療合算介護サービス費
1224万6千円等であります。

歳入の主なものは、新
共同電算対応システム
改修及び財源調整によ
る前年度繰越金387
万1千円等であり、歳
出の主なものは、新共
同電算対応システム改
修に伴う疾病予防費3
67万5千円等であります。

歳入の主なものは、新
共同電算対応システム
改修及び財源調整によ
る前年度繰越金387
万1千円等であり、歳
出の主なものは、新共
同電算対応システム改
修に伴う疾病予防費3
67万5千円等であります。

歳出の主なものは、新
共同電算対応システム
改修及び財源調整によ
る前年度繰越金387
万1千円等であり、歳
出の主なものは、新共
同電算対応システム改
修に伴う疾病予防費3
67万5千円等であります。

★平成22年度曾於市・下
水道事業特別会計補正
予算（第2号）
(全会一致 可決)
今回の補正是285
万8千円を追加し累計
予算は3億9577万
8千円となります。
歳入は、受益者負担
金現年度分54万円、一
般会計繰入金231万
8千円であります。
歳出は、排水設備工
事費補助金80万円と処
理場修繕費205万8
千円であります。

ビス費の増額に対する
国庫支出金364万9
千円、支払基金交付金
367万3千円等であ
ります。

★曾於市立小学校及び中
学校の設置並びに管理
に関する条例の一部を
改正する条例の制定に
ついて

（賛成多数 可決）
（賛成多数 可決）
（賛成多数 可決）
（賛成多数 可決）
（賛成多数 可決）

★曾於市立学校給食共同
調理場の設置及び管理
に関する条例の一部を
改正する条例の制定に
ついて

（賛成多数 可決）
（賛成多数 可決）
（賛成多数 可決）
（賛成多数 可決）
（賛成多数 可決）

ビス費の増額に対する
国庫支出金364万9
千円、支払基金交付金
367万3千円等であ
ります。

歳出の主なものは、
平成24年4月1日から
平成24年7月31日まで
の介護保険及び後期高
齢者医療に係る高額医
療合算介護サービス費
1224万6千円等であります。

歳出の主なものは、新
共同電算対応システム
改修及び財源調整によ
る前年度繰越金387
万1千円等であり、歳
出の主なものは、新共
同電算対応システム改
修に伴う疾病予防費3
67万5千円等であります。

歳出の主なものは、新
共同電算対応システム
改修及び財源調整によ
る前年度繰越金387
万1千円等であり、歳
出の主なものは、新共
同電算対応システム改
修に伴う疾病予防費3
67万5千円等であります。

歳出の主なものは、新
共同電算対応システム
改修及び財源調整によ
る前年度繰越金387
万1千円等であり、歳
出の主なものは、新共
同電算対応システム改
修に伴う疾病予防費3
67万5千円等であります。

歳出の主なものは、新
共同電算対応システム
改修及び財源調整によ
る前年度繰越金387
万1千円等であり、歳
出の主なものは、新共
同電算対応システム改
修に伴う疾病予防費3
67万5千円等であります。



委員による現地調査

★曾於市立保育所設置条例を廃止する条例の制定について

(全会一致 可決)

本案は組織再編計画

により、平成23年4月

1日から曾於市立財部

北保育所及び財部南保

育所を民営化すること

に伴い設置条例を廃止

するものです。

移管先については、二

法人から公募があり、

7月27日の選考委員会

を経て、NPO法人（特

定非営利活動法人）「恵

昭会」に決定されたと

の説明がありました。

【水道決算認定】

★平成21年度曾於市水道事業会計決算認定

(賛成多数 可決)

本市水道事業は、施

設老朽化が進み安定經

営の増進のため年次的

改良を行い建設改良工

事12件3970万2千

円、建設拡張工事28件

3億9129万5300

円となつております。な

お平成21年度事業会計

収益費用は収益5億4

409万8401円、費

用4億6774万41

35万4284円となつ

ております。

額241億円が計画さ
れています。事業内容

は、交通・医療・福祉・
教育・産業など市民に

とつて大切な事業です。

特に道路の整備、農
家所得の向上の支援、農

学校の整備など緊急を
要する事業もあります。

しかし、自主財源の
少ない曾於市にとつて

財源の裏付けが必要で
す。

反対意見のなかでは、
今までの総合振興計画
にもなく大切な財源内
訳が不十分であるとの
意見や、フラワー公園づ
くりが計画されている
が、市民の合意が得ら
れているものでなく、市
民生活を守るための施
策が優先されるべきで
あるとの意見が出され
ました。

【陳情】

★大淀川水系庄内川の河川改修に関する要望書

(全会一致 みなし採択)

提出者 曾於市財部町

下財部4466番地

中谷むらづくり委員会

会長 小園 宗治氏

川などの公共土木施設、
農地及び農業用施設、
林地、林道施設、農作物、
住家など極めて広範か
つ甚大な被害が発生し
ました。

特に、財部町中谷地
区では大きな被害をも
たらしました。

早急に復旧支援対策
に向けて特段の対策を
講じられるよう求めて、
衆参両院議長、内閣總
理大臣並びに関係大臣、
鹿児島県知事及び宮崎
県知事に提出しました。

人権擁護委員候補者
を推薦するため、議会
に意見が求められ適任
とされました。

住吉 勉氏 60歳

(財部町浦興禪寺)

伊尻可壽代氏 61歳

(財部町城山)

する「20日」を超えて
も首長が議会を招集し
ない場合においては、議
長にその招集権を付与
する地方自治法の改正
を求めて衆参両院議長、
内閣總理大臣、総務大
臣に提出しました。

（人権擁護委員の承認）

★350万人のウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書採択の陳情書

(全会一致 採択)

提出者 鹿児島市市易居

町2-1

代表 松元 徹氏

曾於市大隅町中之内4

368番地

小濱 キヨ子氏

（意見書）

★臨時会の招集権を議長に付与することを求める意見書

(全会一致 可決)

議会の招集権は、首

長にあり、一定の要件の

もとにおける臨時会招

集請求権が議長及び議

員にあるのみです。二元

代表制の一翼として議会

の機能を果たすため議

員長が臨時会を招集する

必要があると認めたと

き、または地方自治法

101条第4項に規定

（教育委員会委員の選任）

一般質問 8議員登壇

市政を問う

フラー公園づくりは やめよ

市長／業者に委託して進めたい



徳峰 一成 議員

問 大鳥峠（大隅町）と
花房峠憩いの森の管理はどうか。大鳥峠は建設に

1億1千万円、現在周辺の環境悪化で閉鎖してい

る。花房峠憩いの森は建

設に9億6千万円、最高時の利用者は年間8万人、

昨年は1万1千人である。

園をつくり、人を呼び込むことは、花房峠憩いの森（末吉町）を見るまでもなく、大変困難なことである。税金の大きなムダづかいになりかねない。フラー公園づくりはやめるべきだ。

こうした今ある公園の厳しい管理の状況を反省しないまま、あらたに公園をつくることは、今まで持つている車の修理はせず、あらたに大型の新車を買うようなものではないか。

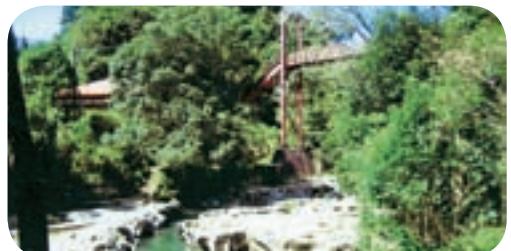
池田市長 市民の憩いの場として、パークゴルフ場を含めた公園として、計画を進めていきた

市長 花房峠憩いの森とフラー・パークは目的が違う。合併特例債を使って計画を進めていきたい。

市長 以前から多くの場所を検討した結果、この場所に決定した。私は適切地と考えており建設場所を変える考えはない。

市長 個人の財産までの場所を検討した結果、この場所に決定した。私は適切地と考えており建設場所を変える考えはない。

市長 市は可能なかぎり市民の手助けをおこなつてこそ、市民から評価されるのではないか。



現在閉鎖されている大鳥峠

災害復旧には
積極対応を

市長 今回の豪雨災害で私が強く感じた点は、市民（あるいは職員）が市民の立場でここまで積極的に手助けができるかについて、市はまとまつた条例等をつくっていない点であつた。

市長 たとえば法律で義務づけられた災害復旧基金の積立てがなされていない。来年度には間に合うよう早急に取り組むべきだ。

市長 今回は天災であり、市に責任はない。市がすべての災害に対応できるわけではない。

市長 来年の3月までには、基金を積み立てたい。

市長 一人暮らしや、みよりのないお年寄りの民家の災害など、市は手早い援助をおこなうべきであつた。



胡摩の災害による農地崩壊

豪雨災害復旧工事の早期完了を

市長／22年度内の完成を目指す



吉村 幸治 議員

市長 豪雨災害復旧工事の早期完了を目指す
吉村議員 災害被害状況
市長 はどうなったか。
池田市長 林地・耕地・土木で、被害総額23億4281万円となっている。
市長 年度内にどこまで復旧できるか。



流失した跨橋

市長 林地は10ヶ所、農地・水路・農道・林道などすべて年度内の予定、道路・河川も年度内完成を目指しているが橋梁が23年度の前期までかかる。なお、林地災害(治山事業)は22年度施工以外についても、県と協議を進めできるだけ早急に対応でき

市長 地区民が安心して暮らせるために、庄内川河川対策協議会等を設置して、解決に向け全力をあげ取り組むべきであると思うが。

市長 早い段階で取り組む必要があると思うが、どのように会議等を持っていくか。

市長 短時間で局地的な大雨(6時間で315ミリ)が主なる原因と思うが、マルチ栽培など農地の保水力が低下、排水路が整備され水の流れが速い、崖崩れや流木により止めたことなどもある。

市長 今年は5月25日に開催予定であったが、口蹄疫の関係で延期している。

市長 短時間で局地的な大雨(6時間で315ミリ)が主なる原因と思うが、マルチ栽培など農地の保水力が低下、排水路が整備され水の流れが速い、崖崩れや流木により止めたことなどもある。

市長 災害は原形復旧が原則となっており、元にもどすことになるが、中谷地区の被災状況を見ると、庄内川の河川改修等の抜本的な対策がなされないと再び被災する可能性があると考える。

市長 庄内川は宮崎県境で両県が管理する河川であり、なかなか双方の協力体制が整いにくい。

市長 関係機関に対して話し合いのできる場を設けるよう今後協議していく。

市長 短時間で局地的な大雨(6時間で315ミリ)が主なる原因と思うが、マルチ栽培など農地の保水力が低下、排水路が整備され水の流れが速い、崖崩れや流木により止めたことなどもある。

市長 短時間で局地的な大雨(6時間で315ミリ)が主なる原因と思うが、マルチ栽培など農地の保水力が低下、排水路が整備され水の流れが速い、崖崩れや流木により止めたことなどもある。

市長 災害は原形復旧が原則となっており、元にもどすことになるが、中谷地区の被災状況を見ると、庄内川の河川改修等の抜本的な対策がなされないと再び被災する可能性があると考える。

市長 庄内川は宮崎県境で両県が管理する河川であり、なかなか双方の協力体制が整いにくい。

市長 関係機関に対して話し合いのできる場を設けるよう今後協議していく。

市長 短時間で局地的な大雨(6時間で315ミリ)が主なる原因と思うが、マルチ栽培など農地の保水力が低下、排水路が整備され水の流れが速い、崖崩れや流木により止めたことなどもある。

市長 短時間で局地的な大雨(6時間で315ミリ)が主なる原因と思うが、マルチ栽培など農地の保水力が低下、排水路が整備され水の流れが速い、崖崩れや流木により止めたことなどもある。

市長 短時間で局地的な大雨(6時間で315ミリ)が主なる原因と思うが、マルチ栽培など農地の保水力が低下、排水路が整備され水の流れが速い、崖崩れや流木により止めたことなどもある。

市長 9月末頃に開きたい。
市長 危険箇所点検報告及び現地調査など、大事な防災会議であると思うが開催するか。

市長 河川改修を部分的に行っているものの川幅が狭い箇所があること、堤防が低いこと、下流に関之尾の滝があることなどが考えられる。



宮崎県境の寄り州 (P2 参照)

昭和46年竣工の農業構造改善事業に係る懸案事項は

市長／農振除外は具体的な住宅建設がなければ難しい

池田市長 改良工事については23年度までの事業実施予定となっている。農振除外については、市が住宅建設を計画、もしくは地域住民及び地権者の要望により除外するには、具体的な計画がなければ難しいとのこと。



漆間 純明 議員

池田市長 改良工事については23年度までの事業実施予定となっている。農振除外については、市が住宅建設を計画、もしくは地域住民及び地権者の要望により除外するには、具体的な計画がなければ難しいとのこと。



排水整備が待たれる八合原地区

池田市長 改良工事については23年度までの事業実施予定となっている。農振除外については、市が住宅建設を計画、もしくは地域住民及び地権者の要望により除外するには、具体的な計画がなければ難しいとのこと。

池田市長 改良工事については23年度までの事業実施予定となっている。農振除外については、市が住宅建設を計画、もしくは地域住民及び地権者の要望により除外するには、具体的な計画がなければ難しいとのこと。



改良が待たれる県道71号線

市長 これだけの大きな面積を除外申請するとなれば、それなりの理由が必要で非常に難しさを感じる。地権者の全員がそのような方向であれば検討する。

市長 検討委員会を4回開催し、特に竹山地区に対する面積を除外申請するとなれば、それなりの理由が必要で非常に難しさを感じる。地権者の全員がそのような方向であれば検討する。

市長 検討委員会を4回開催し、特に竹山地区に対する面積を除外申請するとなれば、それなりの理由が必要で非常に難しさを感じる。地権者の全員がそのような方向であれば検討する。

市長 検討委員会を4回開催し、特に竹山地区に対する面積を除外申請するとなれば、それなりの理由が必要で非常に難しさを感じる。地権者の全員がそのような方向であれば検討する。

市長 市でも諸々の調査している現状を考えるとき、児童生徒の安全・安心を確保するために教育委員会の基本的な考えは、

市長 これだけの大きな面積を除外申請するとなれば、それなりの理由が必要で非常に難しさを感じる。地権者の全員がそのような方向であれば検討する。

市長 これだけの大きな面積を除外申請するとなれば、それなりの理由が必要で非常に難しさを感じる。地権者の全員がそのような方向であれば検討する。

市長 これだけの大きな面積を除外申請するとなれば、それなりの理由が必要で非常に難しさを感じる。地権者の全員がそのような方向であれば検討する。

市長 これだけの大きな面積を除外申請するとなれば、それなりの理由が必要で非常に難しさを感じる。地権者の全員がそのような方向であれば検討する。

財部温泉センターの指定管理者の見直しを

市長／維持管理の手続きに遅れがあり職員に不安をかけたと思う



五位塚 剛 議員

問 議会での説明でも以前働いていた人は身分を保障すると答弁された。約束違反ではないか。

池田市長 指定管理選定委員会では一年更新の契約社員との説明であった。試用期間3ヵ月を経て10月までの短期契約でその後は3月までの契約となる。



財部温泉センター内の特産品売場

五位塚議員 従業員の雇用契約が一年間でなく10月までの4ヵ月間の理由は。

市長 先行きが不透明なため、契約については会社側と従業員と合意ができている。

問 従業員が同じ内容の仕事をしながら給料に差があるのはどういう訳か。

市長 維持管理の手続きに遅れがあり職員に不安をかけたと思う。

問 総合人材センターは指定管理を受けた4月よりあまりにも問題が多くなる。雇用契約についても職員からみて納得のいかないものである。指定管理の見直しをすべきではないか。

市長 6月議会で議決され地質調査を終了し、設計を発注したので変更は考えていない。

反対されている方が条件を示されたので意向にそつた計画を進めていくの

で、理解を頂けると思う。

問 地元住民と合意が得られたと言われたが、文書で交わしたのか。

市長 口頭で了解いただいた。

問 行政が事業を進めるのに口頭確認はおかしい。

問 中谷地区を含めて稻作農家へ直接支援はできないか。

市長 被害のあつた農家へは共済組合から補償があり、市としての支援は考えていない。

大雨災害について



計画中の財部坂元地区宅地分譲地付近

市長 今まで16ヶ所場所の検討を進め選定した。

財部坂元地区の宅地分譲事業は場所の変更を

問 地域住民から宅地分譲地域については変更の

陳情書もあり、なぜ事業をすすめるか。

市長 基本設計に入つており場所の変更は考えていない。

問 行政が事業を進めるのに口頭確認はおかしい。

また農家の方は、納得していない。再度場所の変更を。

問 水田の災害について固定資産税の減免はどう考えているか。

市長 災害については条例に基づいて本人申請で減免を実施します。

市長 8月からは勤務状況や接遇状況を勘案して、月給制を取り入れて納得してもらった。

末吉消防中央分団詰所建設場所の変更

問 末吉消防中央分団詰所建設の必要性は認めるが、市役所玄関前ではなく、市民の合意の得られる場所へ変更を。

問 総合人材センターは指定管理を受けた4月よりあまりにも問題が多くなる。雇用契約についても職員からみて納得のいかないものである。指定管理の見直しをすべきではないか。

大雨災害について

口蹄疫対策の総括を

市長／今後も予防に万全を図る



土屋 健一 議員

土屋議員 口蹄疫対策の
市長総括を。

池田市長 4月20日宮崎
県都農町で口蹄疫が発生
し29万頭余りが殺処分さ
れたが、8月27日に終息
宣言が出された。

曾於市では農家へ消毒

市ではすでに初動体制
たい。
市内全域消毒ポイント撤
去。消毒に6300万円、
見舞金1億3600万円
の費用であった。今後も
畜産振興には努力を傾注
する。
今回畜産農家をはじめ、
他業種にまで経済的影響
が多かった。今後、国・
県から防疫マニュアルが
示されるので万全を図り
たい。

7月27日宮崎県全域制
限区域解除。7月29日子
牛せり市再開。8月4日
市内全域消毒ポイント撤
去。消毒に6300万円、
見舞金1億3600万円
の費用であった。今後も
畜産振興には努力を傾注
する。

危機意識が大切。
毎年「防疫推進月間」
を定めてはどうか。

畜舎の衛生管理、常時
消毒、立入禁止表示等行
政指導の強化。市独自の
防疫マニュアルの作成は



曾於家畜市場入口での消毒風景

剤を配布し24時間体制の
消毒も実施した。

議員 曽於市・鹿児島県
の対策は速やかで的確で
あつた。関係団体役職員
の熱意ある対処に感謝す
る。

7月27日宮崎県全域制
限区域解除。7月29日子
牛せり市再開。8月4日
市内全域消毒ポイント撤
去。消毒に6300万円、
見舞金1億3600万円
の費用であった。今後も
畜産振興には努力を傾注
する。

市長 省エネ、環境整備、
廃棄物エネルギー利用な
どに公も民間も活用でき
る事業。今回は申請が締
め切られている。今後に
期待し積極的に活用した
い。

議員 農業も林業も環境
で語る時代に入っている。
公共事業も環境対策へシ
フトされる。時代と情報
を先取りして曾於市を活
性化されるよう提言する。

**地域グリーンニュー
ディール基金事業を積
極的に活用できなか
いか**

問 21年度から3年間国
で550億円準備された。
県は15億円の基金を準備
した。

公共投資を環境政策へ
シフトする事業で県議会
も熱意がある。

災害復旧対策は

今、国の査定を受けて
いる。年度内の完成を目
指したい。

問 財部町北部の豪雨
災害の全容と復旧スケ
ジュールは。

議員 消防分団や地域住
民の初動対策は迅速で的
確であった。職員も懸命
の取組みで高く評価する。

市長 住宅の全壊や道
路、河川、農地、林地に
大きな被害をもたらした。

当面の応急作業68件に
も熱意がある。

その後に371件分15
億5千万円以上必要と見
込んでいる。これ以外に
県が復旧する箇所も多い。

来年の田植えには何とし
ても間に合わせるよう尽
力されたい。



埋没した中谷地区の水田と路肩決壊

口蹄疫対策に要した 経費と人数は

市長／口蹄疫経費2億5212万1千円
動員数8224人



山下 諭 議員

（注）別に他団体3カ所設置（要員を配置、動噴とマットで消毒を実施した。）
反省として消毒経験のない職員が交代で実施したことによる引き継ぎにとまどったことがあった

池田市長 県境に4月30日から8月4日まで消毒ポイントを4カ所設置し、（注）別に他団体3カ所設置（要員を配置、動噴とマットで消毒を実施した。）
反省として消毒経験のない職員が交代で実施したことによる引き継ぎにとまどったことがあった

問 現在の物流、人の交流からして、いつ、どこでも発生する恐れはある。自主防衛、自主防疫を実施すべきである。

問 現在の物流、人の交流からして、いつ、どこでも発生する恐れはある。自主防衛、自主防疫を実施すべきである。

が、人材派遣会社になつてからはスムーズに行われた。場所として直接の県境で行うべきという意見もあったので、今後は実施場所の借り上げ、整地等も検討していく。

市長 謝り市が再開された。

市長 予想より多かったと聞いている。宮崎県の市場が開催されていなかつたので新規購買者もあつた。価格に対応した支援策もあるので大きな下落とはならない。

市長 鹿児島県は口蹄疫による地域経済打破の一環として、市町村や商工団体によるプレミアム商品券発行を支援する事業を行なう。これ等の利用は考えていいのか。

市長 プレミア付き商品券発行は、市独自でも実

く鳥インフルエンザもあるので、消毒剤の配布とともに、常に警戒し意識の向上を図っていく。殺処分された家畜の埋却地については、確保を指導していく。

市長 8月調査で売上げが減少したと回答が93%あり、理由は客数の減が68%となっている。

市長 8月末での市内の災害発生状況は、その復旧はどうなるのか。

市長 高齢者のスポーツ参加や生涯学習は外で活動する機会が多い。公園等のトイレに手すりの設置を。



再開されたせり市

問 中谷地区は宮崎県との県境にあり、河川の管理者が両県にまたがるため、今まで対策が進んでいない。

市長 鹿児島県に強く働きかけて対応すべきではない。

市長 市内公園のトイレは22カ所、運動ができる手すりの設置は安全面から考えて大切であるので設置する。



手すり設置が待たれる公園トイレ

施しているが、今回の事業は換金期限が平成23年3月末となつていてので、実施する考えはない。

行つた。
今後も続けていく。

公園のトイレに手すりの設置を

パークゴルフ場の建設を

市長／平成 26 年度までの完成に努力する

大川内議員 我が曾於市にもパークゴルフ場の早い建設を望む声が多いが、パークゴルフ場の建設の必要性を感じた理由はなにか。



大川内 富男 議員

問 二つの施設の現段階での構想は。

市長 私も同感である。つつじをはじめチューリップやコスモス等、季節の花々を見てからパークゴルフをして帰る。このような連携が大事である。

市長 いろいろな考え方があるが、小林の生駒高原、また、鹿屋のバラで有名な霧島ヶ丘公園のように、たくさんのお客を呼び込み、そこで特産品や地場特産品の販売も行う施設にしたい。

問 この施設の一日も早い完成を望んでいるが、何年頃の完成予定か。

答 合併特例債が使えるよう努力してい

問 二つの施設の現段階での構想は。

市長 検討委員会を設置して、近隣にある施設等の調査をおこない情報を集めて検討している。

問 集客をより多くするためには、パークゴルフ場は同地区、同会場が良いと思うが。

市長 面積は約 2962 m² あり、現在マテバシイ、山桜、サザンカ、金木犀等がだいぶ大きくなっている。また、年数回草刈りをしている。

問 この樹木は他の場所へ移植するための仮植であると言われるが、ここ近年他の所へ移植している。

市長 現地は多くの樹木が植えてあり、樹木の背が高くなっている。よつて不必要的樹木は伐採して良いと思う。必要な樹木は掘り起こして別の場所に植えることも必要だと思う。

池田市長 合併を記念する公園として、市民の方々に憩いの場、交流の場を提供すると共に曾於市を広く PR するためには必要と感じた。



みんなに親しまれているパークゴルフ（都城市山田町）

火葬場跡地の今後は

たことがあるか。

旧火葬場跡地は色々な樹種が鬱蒼と茂っているが、跡地の面積と現状はどうか。

市長 近頃公園の造り方も芝生が中心になり、近年他への移植はしていない。



更地にしての利用が待たれる
旧火葬場跡地（末吉町）

財部地区の河川の抜本的な改修は

市長／被災状況をもとに今後検討していく



瀬戸口 三郎 議員

池田市長 吉ヶ谷川については、市が管理する普通河川であるが、5ヶ所の護岸が決壊し、現在復旧に向けて事務を進めている。

大隅大川原駅前の住宅地の中を流れしており、河川の拡張等については



大川原駅前の被災地

雨災害により財部地区の抜本的な改修が必要と思う。

庄内川と大川原駅前の吉ヶ谷川の対策を急ぐべきであると思うが計画はあるのか。

住宅の移転等、大きな困難が伴うと考えている。被災状況等をもとに、今後検討していく。

溝ノ口川、庄内川についても、抜本的な改修を要望していく。

再建支援法も9月3日付で公布される予定である。防災対策についても、今後の課題である。

市長 市消防センターについては、施設建設を23年度の予定で、今回の補正予算に設計費を計上している。

場所については、できるだけ現在の消防署により近い、八合原地区に建設したいと思っている。消防本部・通信司令室については、消防広域化の関係から、今後、設置される協議会の意向など考慮して判断したい。

住宅等の個人財産の災害復旧と危険家屋の防災対策の市単独の助成は考えられないか。

消防センター（北部消防署）23年度八合原移転について

消防組合の施設整備計画の中で、消防本部市消防センターの計画は進んでいるのか。

の活性化には、林業振興をすすめる事が最も大事であり市の積極的な取り組みが望まれると思うが。

植林や間伐の取り組みについては、森林組合が中心になって、市単独事業も合わせて積極的に取り組んでいく。

林道整備についても、計画的に整備に努めている。

市長 今後も森林整備の中核的役割を担う森林組合と更なる連携を取りながら、林業振興に努めていく。



曾於市森林組合の貯木場（末吉町）

問 林業振興は、市有林、民有林も伐期にきている面積も多く、また、間伐の必要とされる面積も多く、今後森の持つ多面的機能や、中山間地

林業振興について

今後、地元産材を用したり、国内自給率を高めるため、市長として活動をすることが木材価格の上昇につながると思うが。

の活性化には、林業振興市の事業でも努めて活動したり、国内自給率を高めるため、市長として活動をすることが木材価格の上昇につながると思うが。

委員会報告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

各常任委員会では、閉会中の9月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。

総務常任委員会

(吉村幸治委員長)

☆平成22年度曾於市一般会計予算の補正(所管分)

し、用地費を含めて再検討を行い、執行に当つては慎重にすべきである。

問 曾於市消防センターコンベニエンス事業（北部消防署を含む）建設の場所はどこか。

答 4箇所の候補地を検討し、最終的に旧大隅町の福祉センター跡地を選定した。

問 なぜ福祉センター跡地か。

答 市の所有する土地で取得費が要らないことが一番の理由である。

意見 将来的に見たと

き、今回の場所で市民の不利益にならないか、市民を考えたとき本当によいのか。また、代替え地は北部消防署の近くはないのかなど、消防組合と再度話し合いを行った。

答 末吉庁舎裏門の所の土地を購入して、砂利による整備を行う。

意見 今後造成して舗装まで整備すべきである。

問 難視聴地域における地上デジタル放送のアンテナ工事費は。

答 各市有施設3支所の28ヶ所を行うための工事費である。

意見 地デジ関連の執行については、地元の電気店等をセッティングして対応をすべきである。

問 今回の財政調整基金の取崩しの理由は。

答 農林水産施設災害復旧費、及び公共土木災害復旧費の繰り入れが主なものである。

問 末吉庁舎の駐車場整備の用地取得費の考え方は。

答 末吉庁舎裏門の所の土地を購入して、砂利による整備を行う。



末吉庁舎北側付近の駐車場整備予定地



大隅曾於地区消防組合消防本部・北部消防署

文教厚生常任委員会

(原田賢一郎委員長)

☆曾於市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について

国の法律が昨年施行されたことに伴い、他の介護保険等に係る延滞金の特例との均衡を図るため、改正するものである。

☆曾於市立学校給食共同調理場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

右の2議案は平成24年4月1日より、南之郷中学校を末吉中学校に、財部北中学校、財部南中学校を財部中学校に吸収統合するための条例改正である。

問 地域とPTA、学校がどのような結論を出したか確認したのか。

答 PTA総会等で具体的な内容方針を示し、その質疑の内容などからほとんどの方が了承していただいたと考えている。

☆平成22年度曾於市一般会計予算の補正について(所管分)

問 障害者介護給付費3502万1千円の増は。

☆平成22年度曾於市介護保険特別会計予算の補正について

問 繰越金は。平成21年度決算見込みで1億6785万5304円となる。

問 両保育所の移管先是。2法人から公募があり、選考委員会でNPO法人(非特定営利団体法人)恵昭会(末吉町)に決まった。

☆平成22年度曾於市国民健康保険特別会計予算の補正について

問 繰越金は。

問 これから統合までの事業実施にあたっては、地域住民の認識を的確に把握し、より慎重な対応をすべきである。

問 認定審査事務負担金、介護保険及び後期高齢者医療に係る高額医療合算介護サービス費等の補正である。

問 居宅介護(ヘルパー)生活介護(デイサービス)短期入所(施設に宿泊を伴う入所)の利用者数、利用日数の増によるものである。

答 健康増進施設事業費6千52万円の増額は。

平成23年4月1日から曾於市立財部北保育所、及び財部南保育所を民営化することに伴い、設置条例を廃止するものである。

答 末吉老人福祉センターの老朽化に伴い、健康増進施設を現在のメセナ会館に併設する形で建設するため、駐車場用地を取得するものである。



財部南保育所



財部北保育所

元気に遊んでいる園児たち

特 別 委 員 会 報 告

● 過疎地域自立促進計画特別委員会 委員長 久長 登良男

☆曾於市過疎地域自立促進
計画について
(賛成多數 可決)

議長を除く21名による
全議員で構成される特別
委員会が設置され、曾於
市過疎地域自立促進計画
が付託された。慎重に審
査した結果賛成多數で可
決すべきものと決定しま
した。

過疎地域自立促進特別 措置法

が、平成22年3月
31日に期限切れを迎えて
おりましたが、法の一部
を改正する法案が衆参両
議院で可決され、4月1
日から施行されました。

今回改正された内容は、
過疎対策事業債の対象と
して、ソフト事業が追加
されたことなどであります。
また、失効期限を6年
間延長し、計画期間は平
成28年3月31日までとな
っております。

6. 医療確保では、関係
機関との連携強化に努め
ます。

業林業とも就業される人
が減少し、労働力の高齢
化が進んでいます。

3. 交通通信体系の整
備では、道路等の効果的、
効率的な整備を念頭に置
き、地域の活性化、利便
性の向上に努めます。

4. 生活環境の整備で
は、水道施設、下水道施
設、廃棄物処理、消防施
設等の整備計画が示され
ています。

5. 高齢者等の保健及び
福祉の向上及び増進では、
健康増進施設整備事業が
計画されています。

2. 産業の振興では、農

10. その他地域の自立促
進に必要な事項では、
定住促進を図っていきま
す。

実施計画については、
毎年度ローリングされ
ることになっており、事業
を実施するに当たっては、
論議を深め、実施すべき
である。

また、有利な財源確保
に努めるべき等の意見が
出され、採決の結果、賛
成多數をもって原案のと
おり可決すべきものと決
定しました。

このことを踏まえ、曾
於市過疎地域自立促進計
画では、それぞれの現状
と問題点、その対策、計
画が示されています。

1. 基本的な事項では、
人口の減少が顕著に現
れ、老年者人口比率の増
加、幼年人口比率の減等
により、過疎化が進行し
ています。

8. 地域の文化の振興で
は、地域で育まれた歴史、
文化の保存、継承の取り
組みに努めます。

9. 集落の整備では、自
治会統合補助事業を活用
し、自治会統合を推進し
ます。

7. 教育の振興では、児
童生徒数が減少し、学校
の小規模化が深刻化して
います。

※注釈 過疎地域自立促
進特別措置法とは

人口の著しい減少に伴
い、地域社会における活
力が低下し、生産機能及
び生活環境の整備等が他
の地域に比較して低位に
ある地域について、総合
的かつ計画的な対策を実
施するためには必要な特別
措置を講じることにより、
これらの地域の自立促進
を図り、もって住民福祉
の向上、雇用拡大、地域
格差の是正を図ることを
目的とする。



過疎地域自立促進計画特別委員会の模様

交通事故防止に関する決議

現下の交通情勢については、発生件数、死亡者数、傷者数とも僅かながら減少しているものの、依然として高齢者が犠牲者となる交通人身事故が多発する傾向にあります。

曾於市におきましても、本年1人の方が交通事故で亡くなり、交通死亡事故の抑止と交通事故総量抑止は緊急の課題であります。

当市内の本年度中における交通死亡事故の発生は1件で前年と同一件数ですが、重大・死亡事故に発展するおそれのある交通人身事故も発生しており、極めて憂慮される状況にあります。

安全で安心して暮らすことができる地域社会を実現することは、市民の負託を受けた我々の重大な任務であります。

交通死亡事故は、一瞬にして大切な命を奪い、その家族等や取り巻く知人・友人を深い悲しみに陥らせます。

このような市民を出さないためにも、市民と一体となった交通安全への取組が重要であります。

よって、本市議会は、市民の安全で安心な暮らしを守る立場から、「日本一交通事故の少ない街づくり」を目指し、警察や関係機関・団体と連携し、市民と一緒に交通死亡事故抑止に対する姿勢を明確に示すとともに、すべての市民が交通事故を起こさない、遭わないための防止策を積極的に推進することを決意するものであります。

以上 決議する。

平成22年9月10日



追跡

あの質問はどうなったか？

平成19年12月議会質問分



所 得制限なしの活性化住宅の建設を!!

五位塚 剛 議員

ためには大事な事業ですので積極的に事業を進めたいと考えます。

質問 旧末吉町では農村部の活性化対策のため、所得制限なしの住宅建設を進めてきた。

深川小学校では、児童数を増やすため住宅建設が大きな役目を果たしている。

曾於市全体の小学校近くに、住宅を建設すべきではないか。

答弁

末吉町では平成6年から16年まで35戸建設してきた。大きな財源を必要とするが5戸以上の希望者がまとまれば過疎債で対応していく。

その後の取り組み

平成20年に10戸、平成21年に11戸建設され、平成22年に19戸建設されることにより、合計40戸となります。

なお地域的には、末吉地区25戸、財部地区7戸、大隅地区8戸、農村部の小学校の児童を確保する

表紙によせて

救 急体制確保と救急車の末吉への配備は

海野 隆平 議員

祭りIN曾於市が3会場にて当地の太鼓演奏、本市出身の歌手によるステージイベント等盛大に開催され、地域、市民に活力が沸いてきたような気がします。

本年4月、隣の宮崎県で口蹄疫が発生し、諸々の会議、イベントが中止となりました。しかし、終息宣言後、「口蹄疫不況を吹っ飛ばせ！」焼肉



消防組合では末吉町への救急車の配備について議論されているのか。

質問 また、末吉中央分団詰

所はどうなるか。

答弁 救急車の配備について

は論議がなされた経緯があるが、現在のところ末吉町への配備は議論されていない。

その後の取り組み

平成21年に大崎町と末

吉町に救急車の配備が決

定され、旧駅前に6名体制でスタートしました。

末吉消防中央分団は、

改築をやめて市役所玄関前に新築する予算が議会で決定された。

しかし、議員の中から

は場所の再検討の意見もありました。

中谷地区（財部）は7月の豪雨災害により甚大な被害を受けました。

中谷小学校は全児童数12人の小規模校ですが災害に負けず、みんな元気一杯、今年も地域住民と一体となって運動会が盛大に行われました。

一日も早い災害からの復興が待たれています。

（今鶴）

今日の平和な日本、安心安全な地域を築いていた大先輩に対し歌、踊り等感謝の意を込めた敬老会を開催された地区もあります。

小・中学校の運動会も

開催され、小規模校においては校区公民館合同の大運動会が開催されました。

一生懸命走る姿、一糸乱れぬ応援合戦、息の

あつた親子競技に明るさと元気、感動をいただきま

ました。子どもの成長が

楽しみです。

（九日）

編集後記

私たちが
作っています

いろんなご意見を
お聞かせ下さい。



議会広報等調査 特別委員会

委員長 大川内富男
副委員長 今鶴治信
委員 九日克典
委員 八木秋博
委員 五位塚剛
委員 谷口義則
発行責任者 大津亮二